

ふんね

やまざと

熊本県南関町
議会だより

第16号

[12月定例会号]
平成22年2月1日

1月9日にあった南関町伝統の消防出初め式。写真は放水合戦の様子



大きくなる
議会だよりの
役割



南関町議会議長
下川正見

今議会から始まった議会だよりは、14期としては16号をもって最後となります。4年間発行した山郷は、委員の努力で町民の高い評価を受けています。議会だよりの目的は、正確な情報を偏らない視点で報道すること。

地方議会は大きな岐路に立っており、ますます議会広報の役割は大きくなります。これからの議会のあり方を考えるとともに、町民の方々と議会情報等を共有する手段としては、広報常任委員会の設置が必要と思われると思います。これからのご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

もくじ	ため池など 2億2千万円追加	一般会計補正	02
	保育園問題に集中	9人が一般質問	03

落成した二小のすみ焼き窯



①町当局は、いろいろな失態を重ねて大変な事態を引き起こしている。町民に対してどう説明責任を果たすのか。それぞれ尋ねる。



Yoshimasa Hashinaga

橋永芳政

いろいろな失態・大変な事態 説明責任を追及する

橋永

まったくの「無知」だった

町長

Q 一般廃棄物処理業者不許可処分等取消請求裁判の問題はどうか。
A 町長 法に基づいた責任は町にある。以前、町が裁判で敗訴した時は、賠償金に町費を使わ

Q 処理業者不許可処分等取消請求裁判の問題はどうか。
A 町長 法に基づいた責任は町にある。以前、町が裁判で敗訴した時は、賠償金に町費を使わ

Q 工事追加が出たので1,000万円、1,500万円を出してほしい。こんなことは町民も納得されなれないと思

Q 同じく保育園で、付け替え道路の変更で1,000万円を追加する件はどうか。
A 町長 設計が完全に終わっていない状態の中で予算措置だった。

Q 同じく保育園で、付け替え道路の変更で1,000万円を追加する件はどうか。
A 町長 設計が完全に終わっていない状態の中で予算措置だった。

統合保育園地鎮祭の様子

Q 統合保育園の造成廃土の見積もり違いで1,000万円追加の件はどうか。
A 町長 測量ができない段階での予算措置であった。

Q 同じく保育園で、付け替え道路の変更で1,000万円を追加する件はどうか。
A 町長 設計が完全に終わっていない状態の中で予算措置だった。

Q 同じく保育園で、付け替え道路の変更で1,000万円を追加する件はどうか。
A 町長 設計が完全に終わっていない状態の中で予算措置だった。

Q 同じく保育園で、付け替え道路の変更で1,000万円を追加する件はどうか。
A 町長 設計が完全に終わっていない状態の中で予算措置だった。



1月11日にうから館であった町成人式。今年 は122人が対象だった

平成21年12月定例会は14日から17日まで4日間、開きました。2億2339万2千円を追加し、歳入歳出の総額を56億639万円とする一般会計補正予算など7件、統合保育園建設にかかわる用地の無償貸付(9月の開園まで。その後は月10万円)の議決や広域連合規約の一部変更など2件、固定資産評価審査委員会委員の選任同意3件などをすべてを原案のとおり可決しました。

一般会計補正 2億2,339万円を追加



11月27日臨時会を開き、南関第一小学校のバリアフリー工事1,113万5,250円、2,473万4,250円などを盛り込んだ一般会計補正予算を可決しました。また人事院勧告に基づき職員給与の減額も可決しました。

一小がバリアフリー化へ
新型インフルエンザ予防接種で優先対象者の自己負担を無料化する補助

主な一般会計補正料1億595万5千円、ため池新設等の工事4,346万2千円、大津山公園の施設整備105万9千円、下水道特別会計繰り出し金30万円、全国瞬時警報システム設置業務委託料792万2千円、要・標準保護児童援助費39万5千円、幸せの町づくり奨励金25万円などです。

全国瞬時警報システムに792万円など



川棚町議会の皆さんは研修後、国指定史跡豊前街道御茶屋跡も見学され、南関の歴史にもふれられました。南関町議会へ他市町村議会から広報研修にこられるのは初めでした。

南関町議会に 広報学ぶ



① 独居老人・高齢者対策
Q 独居老人の緊急通報装置の利用度とその内容、制度について周知徹底はされているか。ま

た器具の貸与については必要ならば、予算を問わず要望に応えるべきと思うがどうか。
A 福祉課補佐 民生委員に
適正な利用につながるように連絡している。誤報についても近所の方に連絡をとり確認している。予算については返却分等もあるが必要な限り新しく購入していく。



Takashi Sakemi

酒見 喬

繰り入れに頼る下水道事業 続けられるか

酒見

伸びない加入率を上げたい

建設課長

Q 特別養護老人の介護とホームの整備を尋ねる。また高齢化率の上昇が著しい現状の中で、入所を希望されている方々の対応は緊急の課題だ。早急の対策が必要ではないか。
A 副町長 私もこの高齢者対策を心配している。町の高齢化率は32%を超えている。しかし見

方を変えれば南関町は歳をとっても安心して住める町とも言える。だが年に80人ほどの出生に対し150人が亡くなっている現状がある。そのような高齢化社会の対応を何とかしなければならぬと考えている。老老介護もある。不足している特老の施設については民間の施設もふくめ切実な問題として考えている。
② 財政
Q 景気の低迷が続き財源の確保が難しい中、税金等の対比の試算はできているか。また庁舎へのエレベーター設置については多くの町民から「無駄だ」との指摘がある。その声をどう受け止めているか。
A 住民課長 法人住民税やたばこ税などが減少している。極端な落ち込みはないが、住民税なども平成20年、21年と減少している。21年決算見込みの全体としては、多少上がるの見込みである。

町長
A 今後、景気の落ち込みによって税収も落ち込むと予測され、財政運営は一層厳しくなると受け止めている。そのような観点に立つて今後の財政運営に努めていく。エレベーター設置については町の振興計画審議会に諮り賛同を得ている。設置は、地域活性化対策実施計画の地方単独事業として国の補助100%事業。また高齢者や障がい者に優しいまちづくりでバリアフリーでもある。
③ 下水道建設事業
Q 政府の事業仕分けで公共下水道は「各自自治体の裁量に任せる」との判断が出た。どのよう

に受け止めているか。また加入率は伸ばさず、公債と一般会計からの繰り入れに頼る事業を続けられるか。
A 建設課長 行政刷新会議の事業仕分けで下水道事業が取り上げられ、「財源を地方に移し自治体に判断を任せ、環境型整備を整える」と判断されたが、国の財政事情だけで経費を減らそうとの意図が見える。しかし現時点ではなんとも言えない。また加入率が伸び悩み深刻な問題もある。今後も加入促進に努めていきたい。



関町の下水道工事の様子



Junko Yamaguchi

山口 純子



水路が危険とされる免田地区の通学路

何度も質問した 坂下三ツ角改良はどうなるのか 二人の土地測量は済んだ

建設課長

山口

建設課長 下は田んぼで危険と思う。検討したい。
② 坂下三ツ角の改良
Q この四年間、何度も質問してきたが、これから先の状況について尋ねる。

少子高齢化社会と なっている。誰もが安心して暮らせる南関町を目指していただきたい。

① 通学路の整備
Q 免田地区など危険箇所があるようだ。町としてはどのような管理状況か。
A 教育課長 所管が維持管理をしている。その箇所は南関第一小学校の関村地区、金丸や八重丸、津留地区等の子どもたちをはじめ、南関高校生も利用。また水路として受益者が管理されている。ここにふたをかぶせる方法もあるが、受益者の同意が必要。危険箇所には近寄らないといった教育的配慮が必要だ。危険が発生した場合は担当

の方で対応している。さらにPTAや学校や地域の方から連絡を受け、受益者と話し合いながら改善していきたい。
A 建設課長 安全な町道にするため、交通安全施設工事の予算を町の振興計画に毎年750万円程度計上している。昨年も区長の申請を受けて現場を見て、ガードレール、ガードパイプ、カーブミラーを設置している。町道の維持・管理は別に予算内で施工している状況。農業用水路改修については町の補助制度もある。用水路組合の方



改良が急がれる坂下三ツ角

から補助申請が提出されれば事業費の二分の一の補助で対応していく。
Q 750万円計上されているならば町道として管理をしてほしい。坂下の井手橋付近の道路もガードレールがないので取り付けの検討を求め

A 建設課長 用地測量を行なうためには、用地買収に必要な土地の実測図等を作成する必要がある。土地所有者や隣接者の立会いを求め、境界を画定し、全体の測量を行なう。その後、事業用地の確定となる。現在は二人の土地の測量を既に実施した。予算の都合で一人の概算額が提示されている。



退職金について答弁を求められる上田数吉町長

橋本義治



Yoshiharuru Hashimoto

保育園建設 追加予算は本当にないか

橋本

防火水槽を設けるべき となっている

福祉課長

①町長の退職金の二期目からの廃止
Q 地方交付金の削減や税収の減少などが今後考えられる。財源が厳しくなる中で、高齢者福祉や子育て支援等が必要

A 町長世界、国とも厳しい状況にある。本町も厳しい時代を迎えている。財源確保の一つの方策として第三次行政改革を推進している。また地域社会の活性化を図るためには町民の理解と協力が不可欠である。しかし退職金は、多くの町村の首長が加入している。南関町だけが勝手に条例を改正することはできない。

Q 造成時の切り土部分の持ち出し量、運搬台数の報告を求める。
A 建設課長 全員協議会で報告した5,639台をお詫びし訂正したい。10ト車で6,905台(4月から9月まで)。
Q 全員協議会の報告より1,300台ほど多い。私の計算と合ったので了解した。木の根や竹の根は産業廃棄物になるが、どうしたのか。
A 建設課長 申し訳ないがそこまでは調べていない。
Q 業者に確認をしてほしい。次の質問だが、都市計画法の改正で

調整池が必要になり、これを知らなかったと答弁があった。もう一度聞くが、ほかに追加するものは本当にないのか。
A 福祉課長 事務の流れの中で調整池の必要が出てきた。許可を取ってやらなければならなかったものを、知らずに取り組んだ。許可をもらうためには防災上、池が近くにない場合は防火水槽を設けるべきとなっている。21日の民営化調査特別委員会で説明させていただきたい。

おひ 法改正を知らなさすぎ。あまりにもずさん。指導力不足、勉強不足だ。



関係者が出席して1月6日にあった統合保育園の地鎮祭



Hideki Shimasaki

島崎英樹

小さなミスが大問題に 開園遅れの統合保育園

島崎

今後はそういうことが ないよう努力する

町長

①国の事業仕分けによる町への影響
Q 政府への陳情を民主党本部が一元管理する新ルールの自治体向け

説明会が11月3日、熊本市内で開かれた。町から誰が行ったか。
A 町長 私も副町長も行っていません。
A 総務課長 職員も出席していません。
Q 国や県の動きにアンテナを張って町民が損をしないようにするのが首長の役目。そんなことではないのか。
A 町長 当然行くべきだった。

不備。報告・連絡・相談は組織の基本中の基本だ。小さなミスの積み重ねが結局、大きな問題につながったと思われる。
A 町長 今後はそういうことがないように各課連携して、町政のために努力をしなければならぬと思っている。
Q 定住促進、企業誘致・支援と少子化対策
Q 町を残すには今が踏ん張りどころ。いろいろな課題や問題はあるがみんなで頑張るべき時

を会長に南関町まちづくり推進プロジェクト会議を10月15日に設置し、定住対策、少子化対策、雇用対策を中心課題として、推進計画や項目別計画の検討をしている。
A 副町長 職員10人で頑張っている。平成22年3月には推進計画をまとめた。
Q 9月定例会で開きたいとしていた校区内での行政懇談会
Q 町長任期内に開くか尋ねる。
A 町長 町長選、町議選とも平成22年2月16日告示、2月21日投開

票が決まった。選挙前に懇談会を開催することはいかがなものか。
Q 町民の方を向いた行政を進めてほしい。すべての課長にその決意を尋ねる。
A 教育課長 協働の学習やしていきたい。
A 会計課長 親切な対応を心がけている。地域の声を聞いてまちづくりに反映させるため頑張る。
A 総務課長 まちづくりの基本理念である住民と行政による協働のまちづくりを目指して頑張る。

A 住民課長 住民課は非常に窓口が広く、いろんな町民の方に接する機会が多い。それぞれの対応を心がけているが、今後もそれにまわりたい。
A 福祉課長 町民の考えをよく聞いて判断していくことが非常に大事

おひ 住民の声にきちんと耳を傾け、職員も議員も一丸となって町のために頑張ろう。



協働のまちづくりが求められている(写真は1月3日にあった関村初会)

②開園が遅れている統合保育園の建設
Q 今回の問題で明らかになった各課の連携

A 町長 まちづくりを推進するため副町長

A 町長 町長選、町議選とも平成22年2月16日告示、2月21日投開

A 福祉課長 町民の考えをよく聞いて判断していくことが非常に大事



若い人が住みやすい町を目指したい



通学が心配される小原のクボタ前



Kiyokazu Suzuki

鈴木清一

福山二城山線 つなげないと利用価値なし

鈴木

やはり本線につなぐ必要がある

経済課長



二城山の林道

①林道福山二城山線
Q 二城山までつなげることができないか。
A 経済課長 林道である福山二城山線は、平成5年と6年の2カ年で、熊本県の緊急間伐事業の作業道として、延長2,400m、2カ所を整備している。平成15年度に計画路線の調査を実施している。国・県の動向とともに事業の必要性、経済効果、実現性等を十分見極め整備に努力していきたい。
Q 農業就業改善センターの上まで進んでいるようだが、そこから少し伸ばして小原につながるか、二城山につながるか
A 経済課長 やはり本線につなぐ必要がある。できるだけではなくて、年数はかかってもしよび作ってほしいと思

②中学校の通学路
Q クボタの前の中学校に通じる道路を通路に使用しないようにできないか。何回も質問している。どうなっているか尋ねる。
A 教育長 中学校とよく相談し、安全委員会などもあるので直すべき



通学に使われているクボタ前の高速下

ところはどこか要求をまとめてもらい、建設課にお願いしたいと思う。
お祈り 事故がなかったという故があるからでは遅い。トンネル内のガードを過ぎて中学校に向かうカーブなど非常に危険だ。改善すべきだ。



Shinji Honda

本田真二

保育園建設で 法改正の伝達ミス

周知措置を怠っていた 申し訳ない

総務課長

本田

進プロジェクト会議を設置して検討している。
Q 時系列的目標（スケジュール）はできたか。
A 町長 長期、中期、短期に分類して進めることも検討したい。
③統合保育園
Q 一連の残土処理、調整池設置、進入口の付け替えなどの追加補正や関連予算について、町民へどういった形で説明するか。
A 町長 町民にはこうした状況を広報なんかんや報道機関を通じて、また保護者には各園の説明会で説明したい。
Q 都市計画法改正の伝達ミスはどうか。
A 総務課長 改正通知を受け取った総務課で、周知の作品展示などが人気を集めている。開町商店街にあるまちの駅ゆたくと。

知措置を怠っていた。本当に申し訳ございませんでした。
Q 保育園バスのお話しいやアンケートの進捗状況はどうか。
A 福祉課長 保育園バス利用の希望が多いのは、新園から遠い第二保育園の27人中10人の38.5%、第一、第三、第四が11.4%、8.7%、21.4%。負担金等は菊水ひまわり園の年会費25,700円を参考に検討中。



記念写真を撮る出席者（1月11日の町成人式）

①成人式
Q 3月議会で質問したが、成人を迎える子どもを持つ保護者から正月と成人式の二重帰省の苦情を聞く。平成23年は何日に開催予定か。
A 教育課長 1月4日に開催予定。
②まちづくり推進室
Q 国においては事業仕分けに見るように、各種事業の優先順位等を見直している。その視点には国民生活に基盤をおいているもの。南関町の国家戦略室がまさにまちづくり推進室ではないだろうか。まちづくり推進室は、これからの南関町の将来に対して、非常に重要な役割を担っているのではないかと。町の総力を挙げて、次世代の子どもたちが、希望を持って暮らせる町づくりに取り組むべき時だ。
A 設置の基本理念（意義、理由）は推進室内で共有できているか。
A 町長 本町の魅力ある暮らしの創出、少子化対策、さらには企業誘致および支援による定住化を図ることを目的に

設置した。
A 副町長 住みやすい、住んで良かったまちづくりが理念と確信する。
Q 行政にやさしいまちづくりではなく、町民にやさしいまちづくりのため、どのようにして民間活力を導入していくか。
A 副町長 プロジェクトチームの結果報告後、有識者の意見を必要があれば聞きたい。
Q 達成目標は明確に描いているか。
A 町長 副町長を会長とするまちづくり推



舗装が予定されている尾田高久野線の交差点



Mikio Ooki

大木 幹夫

来年度で農免道路2期が完了。その後の計画は新しい路線は県と協議中

経済課長

大木

Q ①農免道路2期の整備 平成22年度で農免道路2期が完了するが、その後の計画を尋ねる。 A 経済課長 現在、整備中の南関2期地区農免道路整備事業については、平成22年度完了予定である。南関2期地区の工事概要としては、延長が1,685m、全幅員7m、有効幅員5.5mとなっている。町としても、南関2期地区の終点から、県道大牟田植木線までの路線計画は、基幹農道の整備充実を図る上で重要な路線

Q 現在、完了している農免の舗装はどうか。雨が流れている場合、砕石や砂などが流れ込んでいないか。 A 経済課長 この事業は県の21年度当初計画



で開いている。21年度工事で2期地区全線が改良ということになり一応、全線がつながるといふことになっている。舗装については全部の改良を今年度、全線つながった時に、改良の予算残を利用して舗装を一部実施したいと聞いている。尾田高久野線の方から予算の範囲内で実施したいと思う。22年度は残りすべてを来年度とし、今年度の当初計画でいうと、残りの1,345mを来年度舗装予定。20年度で一応2期は完了する計画になっている。質問のとおり雨が降った場合、いろいろな心配がある。12月1日の委員会でも委員から、どう対応するんだという指摘があった。不安がないようにできる限りの配慮をしたいという県の説明だった。



Yoshio Karasugi

唐杉 純夫

産廃問題左右する 推進委員会の評決を急げ

唐杉

究極まで県の説明聞いてない 評決できない

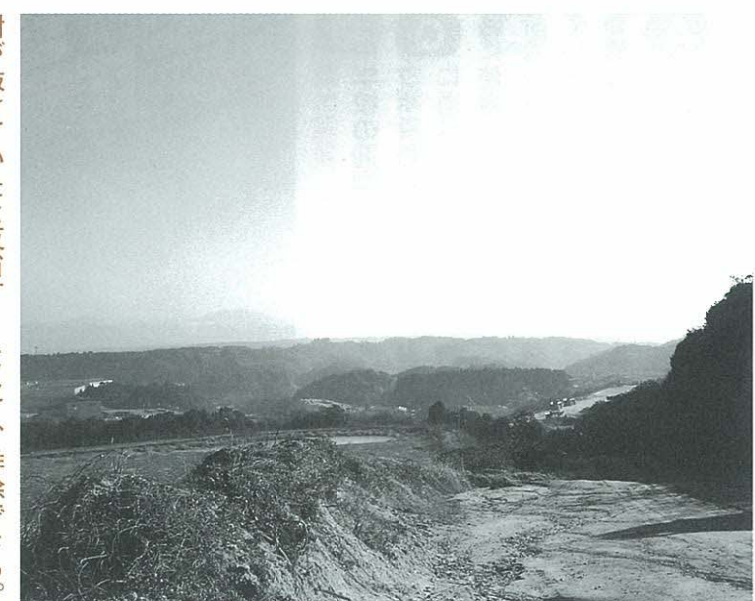
副町長

Q ①産廃問題 環境影響評価条例は地主の了解なく実施できるのか。 A 副町長 同意がなければ実施できない、と認識している。 Q 今年8月17日付けの白間山総合開発推進委員会議の議事録のこと。まだ半年も経っていないが、ある委員が県に対して「地元が井戸調査を全員反対した場合も強制的にするのか。調査ができない場合は建設もできないのではいか」と質問している。これに対し県の室長は「民地については、地権者の同意がなければ調査できない。調査できない場合は建設も難しくなると思う」とはっきり答えている。米田の住民の方はこのことを知った上で、井戸調査をしても良かったのか。逆に言うと、産廃処分場を作ってもいいという合意のもとで調査をしても良かったのか。 A 住民課長 建設を容認しているという意味では全然ないというように聞いている。 Q まだ環境アセスメントの調査にも入っていない。井戸調査はだまし討ちにあつたようなもの。姑息だ。また、現下の環境影響評価の方法書の段階でも、今まで住民は何も知らないままに、遮水工の漏れや産廃の成分がどうなっているといった議論に終始しようとする県のベースに、振り回されてきた。まずはこの土地が使えるのか、使えないのかの部分の検査

討が抜けていたと反省すべき。これが第一義だ。しかも、この件には平成元年から30年間の有効期限を持つ白間山総合開発整備計画がある。同計画は先輩の残してくれた遺産だ。その推進委員会設置要綱第4条2項に従って、快適な地域環境を保護し、白間山の秩序ある発展に資することができないものは、開発推進委員会の意に沿わないものとして、排除できる。その評決をすればすむことだ。地権者も、白間山総合開発整備計画の趣旨に添って従わなければならない。県の決定から3年半も経っているのに、なぜ、評決しないのか。 A 副町長 県から産廃の安全性について、究極の部分まで話を聞いていないので判断できない。従って評決できない。



白間山に県が建設したいとする産業廃棄物の最終処分場

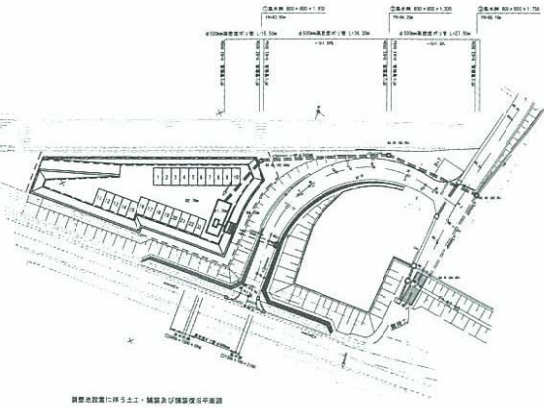


白間山に県が建設したいとする産業廃棄物の最終処分場

調整池設置に1,500万円を工面

9月開園の統合保育園

調整池を設置しなければ開園できないことが判明し、町長が「執行部の勉強不足、不手際」として謝罪を繰り返していた統合保育園建設をめぐって12月24日、臨時会を開き、設置費用1,500万円を可決しました。保護者や子どもたちに、これ以上迷惑をかけてはならないという判断でした。



町民グラウンド下の駐車場に計画されている調整池

この1,500万円は、国の平成21年度地域活性化・経済危機対策として議決していた農村広場のトイレ改修など3事業の当初予算と執行見込み額の減少分が主に充てられました。統合保育園は平成22年4月開園予定でしたが、造成費用の追加などから同年9月開園。建物の工事は1月からスタートしています。

* 一般質問の中で答弁があった防火水槽の設置については定例会後の21日、民営化問題調査特別委員会を開き、町長らが繰り返しミスを謝罪。設置の必要性は理解できるものの財源が問題となりました。検討の結果、町内に設置予定だった防火水槽一基が地区の事情で設置できなかったことから、この予算500万円をそのまま保育園の防火水槽設置に充てることになりました。

2月21日(日)は投票へ

南関町長選挙と南関町議会議員選挙があります

投票日は 2月21日(日)
告示日は 2月16日(火)



タイアップレイク

編集後記



早いもので今年も、ひと月が過ぎました。28日までしかない2月。昔から逃げていくといわれます。21日は、町長・議員選挙の投票日です。投票は民主主義の原点。よりよい南関町づくりのスタートラインです。



議会だより山郷の創刊から16号まで大変お世話になりました。新しい議会と山郷が、もっともっと町民の皆さんに近づくことを願って、結びとします。

広報調査特別委員会委員長
島崎英樹

編集(広報調査特別委員会)

- 委員長 島崎英樹
- 副委員長 橋永芳政
- 委員 酒見 喬
- 委員 山口純子
- 委員 大木幹夫
- 発行責任者 下川正見